

平成29年9月4日

政策統括官(国土・土地、国会等移転)付

## 歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するツールを提供します！

～バリアフリー・ナビプロジェクトの推進に向けて～

バリアフリー・ナビプロジェクト(ICTを活用した歩行者移動支援)の推進を図るため、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報を入力し、データ化することができる「歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)」を無償で提供いたします。

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、例えば、車いすの方が通行できるバリアフリールートスマートフォンを通じてナビゲーションする等、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、バリアフリー・ナビプロジェクトを推進しています。

このようなサービスを実現するためには、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報をデータ化する必要があります。

このたびタブレット等の携帯情報端末上で歩行空間のバリアフリーに関する情報を入力し、歩行空間ネットワークデータ<sup>※1</sup>としてデータ化することができる「歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)」(以下、「データ整備ツール」)を国土交通省より提供することとしました。従来はデータ作成に際して、現地調査した結果をパソコンのGIS<sup>※2</sup>ソフト上でデータ化する必要がありましたが、データ整備ツールでは、現地調査と並行して簡易に情報の入力、データ化を行うことができます。

今後、データ整備ツールの提供を通じて、歩行空間におけるバリアフリー情報のオープンデータ化を一層推進していきます。

※1 歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性として段差や幅員等の情報を持たせてデータ化したもの。歩行者向けのナビゲーション等に用いられる。

※2 Geographic Information System(地理情報システム)の略。位置情報を持つ空間データを総合的に管理・加工し、視覚的に表示すること等ができるシステム。

### 1. データ整備ツールの概要

データ整備ツールは、歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するWebツールです。(別紙参照)

なお、データ整備ツールは試行版であることから、国の機関、地方公共団体、大学等の研究機関に限り利用することができます。

### 2. データ整備ツールの利用方法

データ整備ツールは、利用許諾書に同意し、国土交通省へ利用申請書を提出いただいた方に提供しています。利用申請を行う前に必ず利用許諾書をお読みください。

データ整備ツールの利用を希望される場合は、下記URLをご確認ください。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_tk\\_000041.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000041.html)

#### <問合せ先>

国土交通省 政策統括官付	企画専門官	原田 洋平	(内線 53102)
	主査	原田 勝敏	(内線 53115)
電話 03-5253-8111(代表)	03-5253-8794(直通)	FAX 03-5253-8106	